

広

第13回こみせんまつり

世代をこえて盛り上がる地域のお祭り

2026年2月23日(月・祝)に、「第13回こみせんまつり」を開催します。地域住民の交流促進の場づくりを目的とした地域交流イベントです。今回は、「わじろ地域のつながる力！大集合！」をテーマに、コミセンわじろの2階、3階、5階を使用し、1年で一番盛り上がるイベントを開催します。

5階の多目的ホールでは、コミセンわじろをはじめ、公民館などを中心に活動している地域のサークル団体による発表会が行われます。3階の体育館では、「こみせんひろば」を実施し、企業や学校、福祉施設や地域団体の皆さんによる体験やものづくり、飲食物品の販売、餅つきやお餅の振る舞いを予定しています。2階の会議室では「喫茶こみせん」を実施し、お菓子やお茶を飲みながら、5階の多目的ホールの様子を時間差でご覧いただけます。

子どもから大人まで、どなたでも楽しめるお祭りになっています。ぜひ、ご家族やおともだちと一緒に、遊びにきてください！

《第13回こみせんまつり 詳細》

【日時】2026年2月23日(月・祝) 9:30～15:40
【会場】コミセンわじろ5階・3階・2階 【参加費】無料
【問合せ】092-608-8480(コミセンわじろ)



▲昨年度のエンディングの様子。



▲3階の体育館では、お餅つきが行われ、振舞われた。

入場無料!
どなたでも
参加OK!!

接

ふくおかポイント

地域活動でポイントがもらえる！

「ふくおかポイント」、活用されていますか？「ふくおかポイント」は、皆さんが取り組む地域におけるボランティア活動への感謝の気持ちとしてポイントを渡し、地域活動などの活性化や支援につなげることを目的としています。令和6年度には、美和台校区をはじめとした9校区の自治協議会がモデルとして実施しましたが、今年度から60校区で実施しています。自分が住んでいる校区だけでなく、他の校区の地域活動に参加していただくと、ポイントをもらうことができます。

そして今年の秋から、コミセンわじろでは、集めたポイントを使って、コミセンわじろの体育館・トレーニングルームを2時間無料でご利用いただけます！

ぜひこの機会に地域活動に参加し、コミセンわじろで運動やトレーニングをしてみませんか？ご利用をお待ちしています。



▲ふくおかポイントを使って運動する際は、3階スタッフまで。

ふくおかポイントについては、
QRコードをご確認ください。
ご利用には「ふくおかポイント」の
アプリのダウンロードが必要です。



コミセンわじろ
WAJIRO Regional Community Center

〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27
☎092-608-8480 FAX:092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)
【休館日】毎月最終月曜日(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28～1/3)

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <https://wajiro.info>

facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



公式HP facebook



Contents

わじかつ 立花高等学校 Mama's CAFE

わじろぐ 和白東小学校交換留学

わじかつ くるり

わじとび 第13回こみせんまつり

わじくみ ふくおかポイント

生徒と地域がつながる やさしいカフェ

A gentle café connecting students and the community

51

December 2025
Winter

活

立花高等学校 Mama's CAFE

自分のペースで働ける、地域のやさしいカフェ

美和台校区にある「立花高等学校」取材しました。同校は、「パイルアップ」という基本概念に沿って、「できないことを嘆くより、できていることを認め合う」ことを目指している学校です。

今回は、取り組みの1つである「Mama's CAFE」について、齋藤校長先生にお話を伺いました。

活動をはじめたきっかけは？

「Mama's CAFE」はスタートから今年で9年目になります。もともとは2012年、卒業生の就労支援を目的に設立した「NPO法人パイルアップ」から始まりました。就職活動をしていた生徒の保護者から「立花高校みたいな職場があればいいのに」という言葉を受け、最初は箱崎の商店街を借りて、弁当販売からスタート。現在は学校の子会社「株式会社パイルアップたちばな」が店舗運営を担い、博多区役所にも2号店を展開。営利目的ではなく、NPO立ち上げ時の理念を大切にしながら続けられています。

どんな活動ですか？

事業の柱は飲食を提供する「Mama's CAFE」と、地域の高齢者宅の剪定などを行う「地域清掃」の2つです。卒業生は希望に応じてどちらかの業務を選びます。「Mama's CAFE」では、メニューの開発から関わっています。人気のあるカレーやうどん、日替わりのメニューなど栄養士が力を入れたクオリティの高い食事を500円程度で提供し、外部からも高い評価をいただいています。クリスマスにはミルクレープが登場するなど季節のイベントも充実しており、生徒の学校生活を豊かにしています。

他には、約10年前、生徒が拾ってきた猫をきっかけに保護猫活動を行っています。殺処分ゼロを目指し、学校で猫を保護・飼育して里親を探しています。生徒たちの癒やしの場にもなっています。



▲人気のメニューは、毎日変わる日替わり定食。

この活動の魅力は？

社会が求める「きちんと、しっかり」に対して、学校全体が大切にしている「ゆっくり、のんびり、ゆったり」という価値観を、職場でも同じように大切にしていることが、この活動の大きな魅力です。一人ひとりのペースで働ける雰囲気があるからこそ、卒業生が安心してチャレンジできる環境につながっています。

また、「Mama's CAFE」で提供する野菜の多くは、生徒自身が学校の畑で丁寧に育てたものを使用しています。さつまいもや大根、人参などの収穫物を使い、校内のピザ窯で焼いたり、メニューとして提供したりと、育てるところから提供までがつながる体験は、生徒自身の成功体験や喜びにも直結していると感じています。

今後の展開を教えてください

将来的には、飲食だけでなく卒業生が制作した物品なども販売するアンテナショップを開設したいと考えています。駅構内など人通りの多い場所に店出し、在校生の実習の場としても活用することを目指しています。「Mama's CAFE」は、ぜひ地域の方にたくさん利用していただきたいと考えています。ぜひ気軽に食べに来てください。お待ちしております。

《立花高等学校 Mama's CAFE 詳細》
【場所】東区和白丘 2-24-43 立花高校内
【お食事提供時間】11:30～13:30
【問合せ】092-605-0508 (株式会社パイルアップたちばな)



▲生徒だけでなく、地域の方も気軽に購入できます。



▲お弁当からベーグル、ケーキなど、種類も豊富。

記

和白東小学校交換留学

お互いの関係性が育ち続ける国際交流

和白東小学校では、姉妹校交流としてニュージーランドの小学生と国際交流を行っています。

ホストファミリーなど地域の方にも協力いただきながら、日本の文化や良さを伝えている取り組みについて、和白東小学校の振原校長先生にお話を伺いました。

平成20年に始まったニュージーランドとの交換留学プログラムは長年続いていましたが、平成31年度にコロナ禍で中断されてしまいました。ニュージーランド側の強い希望があり、急速再開が決定しました。ニュージーランドの子どもたちを受け入れるホストファミリーを募集したところ、20名の留学生に対し25家庭もの応募があり、受け入れが実現しました。

再開にあたり、「今の子どもたちの日常をありのまま伝えたい」という想いから、留学生には日本の児童が普段受けている授業や給食を共に体験することで、リ



▲コミセンわじろで実施した交流イベントの様子。

アルな交流を目指しました。日本とニュージーランドの子どもたちが笑顔で交流する姿や、参加者から寄せられる感謝の言葉が、大きな原動力となっています。

また、地域の自治協議会からも強い支援があり、留学生へのプレゼント提供や、逆訪問時の費用負担など、物心両面での協力体制が築かれています。

今後は、一過性のイベントで終わらず、プログラム終了後も参加者同士が連絡を取り合い、継続的に交流できるような関係性づくりを目指していきたいと考えています。引き続き交流を進めていきます。



▲言葉が違ってても、笑顔で通じるコミュニケーション。

活

くるり

悩みも笑顔も分かち合える居場所づくり

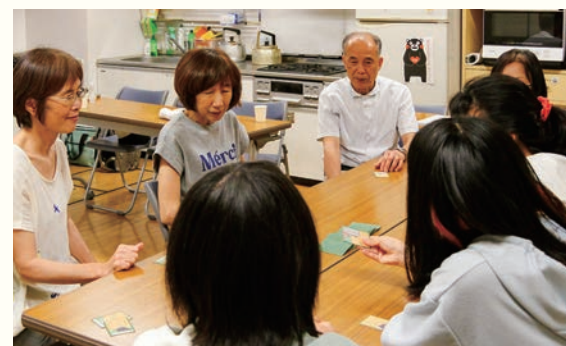
和白公民館で毎月1回、第4日曜日の午後に実施している「くるり」の活動を紹介します。今回は、和白校区で主任児童委員をしている久保田さんにお話を伺いました。

どんな活動ですか？

和白・奈多・三苦校区の第2・3地区民生委員児童委員協議会の主任児童委員が中心となり、中学生を対象とした居場所づくりを行っています。活動内容は基本的に子どもたちが企画します。大人は指示するのではなく、活動を「見守る」サポート役。子どもたちが自発的に遊んだり楽しむきっかけを作っています。

この活動ならではの魅力は？

基本的には、程よい距離感で子どもたちと接することを心がけています。この関係性だからこそ、悩みや本音を話せる場となっていると感じています。卒業し



▲大人も参加して、坊主めくりで盛り上がった。



▲子どもたちの要望で、かき氷づくりに挑戦。

た高校生も、進路に迷った時などに顔を出すことがあり、この場所で先輩と後輩が自然に交流し、お互いに関わることで新たな視点を得る機会となります。活動に参加した子どもたちが元気になって帰っていく姿を見ることが、運営側の大きなやりがいとなっています。

今後の活動を教えてください

今後も引き続き子どもたち自身が「やりたい」と発信したことを実現させていけたらと考えています。どうぞ遊びに来てください。

《くるり 詳細》
【場所】和白公民館 【日時】毎月第4日曜日 13:00～16:00
【問合せ】092-606-3001 (和白公民館)